

保護者の皆様

高槻市立津之江幼稚園

令和5年度 津之江幼稚園教育自己診断について

保護者の皆様には、日頃より本園の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、11月には「教育アンケート」にご協力いただきありがとうございました。実施いたしました「教育アンケート」の結果について集計し、検討しました内容を遅くなりましたがご報告申し上げます。

保護者の皆様のご協力のおかげで、今年度は回収率が96%でした。アンケートの結果は下記の通りです。アンケート結果を参考にさせていただき、本園の教育活動がより一層充実し、信頼される幼稚園を目指していきたいと思ます。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

アンケート調査人数・・・24名 (5歳児20名 4歳児5名)
回収人数・・・24名 回収率96%

＜津之江幼稚園教育目標＞

つなごう 幼稚園・保護者・地域
のびのび あそび えがお かがやく 幼稚園

一心身ともに健やかで 心豊かな子どもを育てる一

＜めざす子ども像＞

- ・心も体も元気で力いっぱい遊ぶ子ども
- ・自分で考えて行動する子ども
- ・自分の気持ちを素直に表現し、豊かな心をもつ子ども
- ・自分を大切にし友達も大切にすること

〔幼稚園アンケートの結果より〕

【お子様について】項目1～6

アンケートを通して子ども達が幼稚園で遊ぶことや、友達と過ごす事に楽しさや居心地のよさを感じながら生活を送っていることが伺え嬉しく感じました。今後も子ども達が安心して自分を発揮し仲間の良さを感じながら、様々な経験や体験を重ね心豊かに育っていけるような教育活動を工夫していきたいと思ます。

5の「してよい事・悪いことを考えて行動しようとするようになってきた」では「あまり思わない」とお答えのご家庭もありました。今後も友達との生活を通して、自分の気持ち、友達の気持ちなど、いろいろな思いがあることに触れ、自分なりに良い事、悪い事を考え行動できるような経験を通し道徳性を培っていけるように努力していきたいと思ます。また、幼稚園と家庭が一体になることで道徳性が培われることを踏まえ、ご家庭との連携も大切にしていきたいと思ます。

【保護者について】項目7～16

14の「幼稚園の行事や教育活動に協力し一緒に子育てをしようとしている」では保護者の皆様が本園の教育活動を前向きに受けとめ協力しようとしてくださっている事がわかり感謝しております。「子育ては楽しい」「子育ての相談相手がいる」という項目では保護者の方が子ども達の育ちを温かな眼差しで楽しみながら子育てをされていることが伺えました。その一方子育ての難しさを感じておられることも伺え、幼稚園、

保護者の方が一体となり、子育ての悩みや、楽しさを共に共有できるような役割を担えればと感じました。保護者の方にとって幼稚園が身近なところであり、共に子育てをしていく存在であると思えるよう努力していきたいと思います。「PTA活動に積極的に参加しようとしている」項目では今後も子ども達の育ちを身近な大人として応援できるような自園の状況に応じたPTA活動や、内容を役員の皆様、会員の皆様とともに考えていきたいと思います。

【幼稚園の教育活動・園の管理運営について】項目17～28

どの項目も100%の肯定的評価であり、90%のかたが「思う」と回答してくださいました。【保護者について】の14の項目と一致しており、保護者の皆様が幼稚園の教育活動を理解し、協力しようとしてくださっていること、また、関心をもってくださっていることが伺えました。今後も一人一人の子ども達が自分らしさを発揮しながら、自発的な遊びを通して、幼児期にふさわしい、いろいろな経験や体験を積み重ねながら、心身ともに健やかに成長していけるようにしていきたいと思います。今後も幼児期が「生涯にわたる人格形成の基礎を培う時期」であることを念頭におき、子どもたち一人一人の発達や心情に丁寧に寄り添いながら、質の高い教育活動を目指して取り組んでいきたいと思っています。

項目25の飼育栽培については「思う」が100%の回答となりました。保護者の方も身近な自然に関心を寄せられている事、子ども達と一緒に感動を共有されていることが伺えました。このような取り組みを通して子ども達に「ちいさな命を大切にすること」が育ってほしいと願っています。

【本園を選択された理由について】項目29

「自宅から近い」の回答が93%であり、「地域や小学校との交流がある」では58%のかたの選択があったことを分析すると保護者の方にとって地域の方にとって身近な幼稚園であることや就学を意識した園の選択をしてくださっていることがわかりました。今後も小学校と併設である良さや強みを生かし子ども達が地域を身近に感じ、スムーズな小学校生活への移行となるよう工夫していきたいと思います。

保護者の皆様からご協力いただいたアンケート結果を令和5年12月19日に評議員の皆様へ報告し、ご意見をいただきました。また、今年度は令和6年2月16日の劇参観にご参加いただき、子ども達の取り組みの様子を観ていただき、ご意見をいただきましたので合わせてご報告させていただきます。

<評議員の方からのご意見>

- 教育活動に関する項目が100%肯定的に捉えてくださっているのは幼稚園生活を通して、子ども達の育ちを実感されてるからではないか。また、送り迎え、参観、懇談など折に触れ子どもの様子や、育ちを知れる機会があることが評価につながっているように思う。年齢的なもの、送り迎えがあるという背景様々な利点を活用しながら積極的に幼児期の大切さを伝えてほしい。
 - 「子育ては楽しい」という項目では「あまり思わない」と回答した保護者が3名いた。少子化もあり保護者にとって年々、子育てのしにくさが増しているように思う。子育て支援の核となるのが公立の就学前施設の役割でもあると思うので、地域にある幼稚園として頑張してほしい。
 - 劇遊びでは子ども達が保護者に見てもらって嬉しさを体いっぱいに出しながら取り組んでいることが伺えた。この様子から親子のつながり、大人に認めてもらうことがどれだけ子どもにとって大切なことであるかが伝わってくる。園はそのような姿を捉えながら自信をもって保護者に伝えていくとよい。
 - どの子どもも自信をもって取り組んでいる姿が見られた。また、自分だけではなく、友達に伝えたり、困っていたら助けようとする姿も見られ、自分という自己と、皆の中の自分を意識し、その中で自分らしさを発揮できていることが感じ取れた。
 - 子どもが楽しんで表現できる音楽を効果的に取り入れている。年齢が小さい時ほどのびやかに自分を表現できるので今の時期を逃さず取り入れてほしい。
- また、歌ったり、踊ったり、表現することと友達との一体感も味わうことが出来る。その様な連続性が仲間関係も育てていくので大切にしてほしい。

○令和5年度評議員の皆様

高槻市立小学校長・元高槻市立幼稚園長・津之江地区児童民生委員

